

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2011年11月30日(水) 9:30~12:15
実施場所	梶ヶ谷小学校ビオトープならびに理科室
実施対象	3年生3クラス(約90名)
実施内容	箇条書き等で分かりやすく記入

1 事前準備

スタッフが事前にビオトープにて観察用の生きものを採取した。

2 池のビオトープでの生きもの採取

- (1)スタッフが、木の葉っぱの様子から環境の変化について話をし、気温と水温を教えた。
- (2)生徒達が各自手網を持って、各自岸辺から生きものを採取した。

3 理科室での生きもの観察

- (1)採取した生きものをシャーレに移し、肉眼、虫眼鏡、顕微鏡を用いて観察・スケッチを行った。
  - (2)映像機器、パネルを用いて生きもの解説を行った。
- 前回採取した生きものとの比較をすると共にファットヘッドミノー、アズマヒキガエルを今回も採取したので、スタッフが各テーブルに回り、外来種及びカエルの毒性について再度解説を行った。

	生きもの採取【池】	観察【理科室】
1組	9:30~9:50	9:50~10:30
2組	10:15~10:35	10:35~11:15
3組	11:00~11:20	11:20~12:00

4 生きもの放流

スタッフが観察した生きものをビオトープに戻した。

生物・植物

	種名	春(5/12)	夏(9/8)	秋(11/30)
水生生物 (魚)	メダカ	○	○	○
	ヒメダカ	○		
	ファットヘッドミノー ※外来生物	○	○	○
水生生物 (トンボ)	シオカラトンボ(ヤゴ)	○	○	○
	ギンヤンマ(ヤゴ)	○		○
	アカトンボの仲間(ヤゴ)			
その他	アズマヒキガエル(オタマ)	○		
	アズマヒキガエル(成体)		○	○
	ニホントカゲ(幼体)		○	
水生昆虫	トビムシ			○
	アカムシ	○	○	○
	イトミミズ	○	○	○
	シマイシビル	○	○	○
	マルタニシ	○	○	○
	モノアラガイ	○	○	○
	ミズムシ	○	○	○
	カイミジンコ		○	○
計		12種	12種	13種

問題点・気付いた事・その他

1 ビオトープ

- ・最近、雨が降っていなかったことや冬の乾燥が重なって、池の水位が低くなっていたため水道水を追加した。
- ・ビオトープ周辺には、セイタカアワダチソウや落ち葉等が見受けられず、管理がされている様子であった。

2 生きもの観察

- ・生きもの種類が春・夏の時と比べて一番多く観察することができた。
- ・ファットヘッドミノーは、春夏の学習時には、1匹しか確認できなかったが、今回は、3匹も確認した。

3 児童からの質問

- ・「梶ヶ谷小にいないくて、他の学校にいる生きものはあるのか」という質問があり、西梶ヶ谷小にハイロゲンゴロウがいることを教えたところ、今まで一度も見たことがなく、ぜひ梶ヶ谷小に飛んできてもらいたいとの感想があった。
- 学校間ネットワークの構築により、梶ヶ谷小においても、ハイロゲンゴロウが確認できればと感じた。



事前準備(生きもの採取)



スタッフによる説明



生きもの採取



生きもの採取



生きもの観察(顕微鏡使用)



生きもの観察(アズマヒキガエル)



生きもの観察(ファッドヘッドミノー)



映像機器・パネルによる解説